

⚽高校サッカー選手権大会の合間に葛和田フェスティバルに参戦⚽

全国高校サッカー選手権準決勝と決勝の合間の1月10日、埼玉県熊谷市の河川敷にある葛和田グランドでサッカーフェスティバルが行われました。昨年度、大学の仲間たちと立ち上げたミニフェスティバル。今年は、竹園、八千代(茨城県)、横浜隼人(神奈川県)、北越(新潟県)、龍谷富山(富山県)、上田(長野県)高校の県外チームと東京の帝京、石神井、片倉高校の全9チームが参加し、利根川の河川敷のグランド三面を使用し一日三ゲームとサッカーを存分に満喫してきました。この日は全国的に低気圧の影響もあり荒天で、風速20mを超える強風の中、不測の事態のプレーが続出。また、河川敷のグランドは暖をとる場所もなく吹きっ晒しの状態で、時折、荷物が吹っ飛ぶのを追いかける場面が至る所で見られる過酷な環境の中で過ごしました。アウトドアスポーツは天候やグランド状況など環境の影響をダイレクトに受けますが、恐らく将来これ以上劣悪な環境の中でプレーすることはないと思います。今日一日でホームゲームでは得られない体験ができ、子どもたちは心身ともにとてもタフに成長したことでしょう。特に、今の子どもたちにとって非日常的な生活体験は貴重です。他県チームとのゲームから得ることも多いのですが、それ以上に学びの大きい一日でした。“人間万事塞翁が馬”ですね！

新年早々、高校サッカー選手権でスタンドからいいゲームを観戦し、厳しい環境下でゲームができ、2026年も幸先のいいスタートを切ることができました。



⚽埼玉県と群馬県境。赤城山🗻を臨む利根川の葛和田グランドでのフェスティバル⚽